

# 長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2023年第30週 2023年7月24日（月）～ 2023年7月30日（日） 2023年8月3日作成

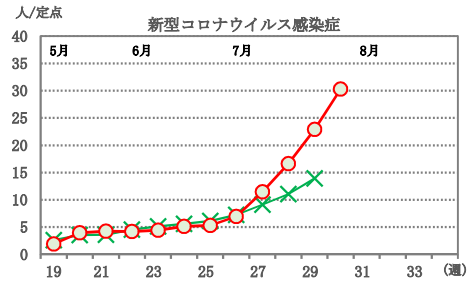
## ☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

### （1）新型コロナウイルス感染症

第30週の報告数は2120人で、前週より514人多く、定点当たりの報告数は30.29であった。

年齢別では、10～14歳（247人）、40～49歳（244人）、50～59歳（225人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、上五島保健所（85.67）、県北保健所（40.75）、長崎市保健所（35.41）であった。

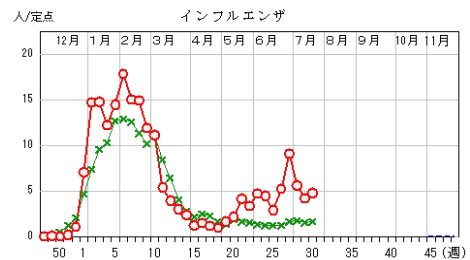


### （2）インフルエンザ

第30週の報告数は336人で、前週より40人多く、定点当たりの報告数は4.80であった。

年齢別では、10～14歳（91人）、6歳（25人）、8歳（24人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、長崎市保健所（9.82）、県央保健所（6.18）であった。



【インフルエンザ】

第30週の報告数は336人で、前週より40人多く、定点当たりの報告数は4.80でした。地区別にみると、長崎地区（9.82）、県央地区（6.18）は他の地区より多くなっています。五島、壱岐地区を除くすべての地区で流行の目安である「1.0」を超えていますので、注意が必要です。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫等に含まれるウイルスが付着した手指で自分の眼や口、鼻を触ることによる接触感染があります。1日から3日間の潜伏期間のあとに38度以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然現れます。これに続いて咳、鼻汁などの上気道炎症が起こり、約1週間で軽快するのが典型的な症状です。呼吸器、循環器等に慢性疾患を持つ方は、その病状が悪化することもあります。小さなお子さんの場合、熱性痙攣や気管支喘息を誘発することもあります。

今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。

【感染性胃腸炎】

第30週の報告数は99人で、前週より22人多く、定点当たりの報告数は2.25でした。地区別にみると佐世保地区（5.17）、県央地区（4.57）、県北地区（3.00）は他の地区より多くなっています。今後も予防に努めましょう。

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

**★トピックス：腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう**

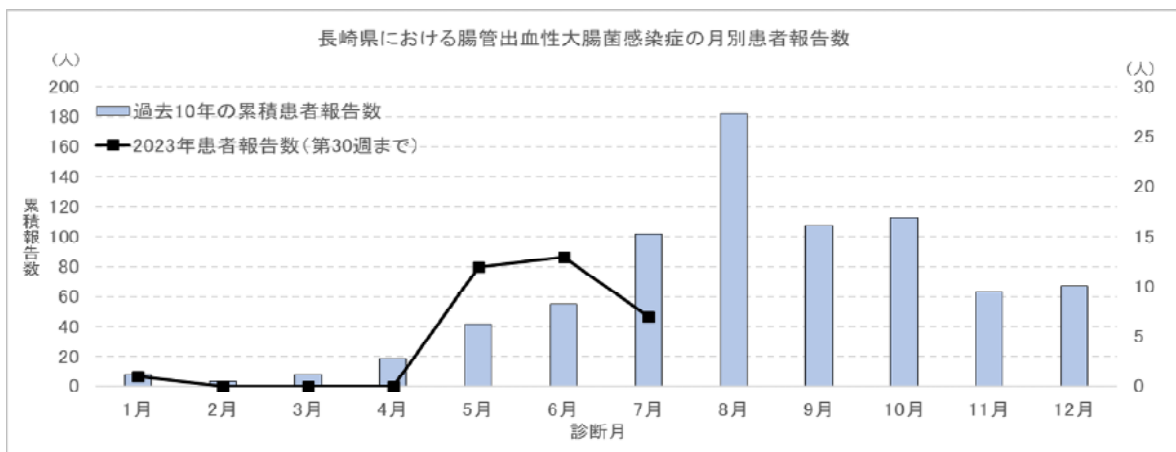
腸管出血性大腸菌感染症は、O157やO26をはじめとした「腸管出血性大腸菌」による感染症です。

主な感染経路は、菌に汚染された食品や患者の便で汚染されたものに触れた手を介した経口感染です。2～9日の潜伏期間の後、腹痛・水様性下痢・血便などの症状を呈します。無症状の場合もありますが、発症者の約6～7%が、溶血性尿毒症症候群や脳症などの合併症を起こし、時には死亡することもあります。特に、抵抗力が弱い小児や高齢者等は注意が必要です。

県内では、2023年第30週までに腸管出血性大腸菌感染症が33例報告されています。

例年夏に患者数が増加する傾向にあります。次の点に気をつけて感染予防に努めましょう。症状があるときは医療機関を受診しましょう。

- 帰宅時やトイレ・オムツ交換の後、調理・食事の前には石鹸と流水で十分に手を洗いましょう
- 肉類を調理する際は十分に加熱しましょう
- 生肉を調理する際、器具は専用のものにするか、使用后すぐに十分な洗浄・消毒をしてから他の調理に使用しましょう
- 下痢症状のあるときは入浴は控え、シャワー浴または最後に入浴しましょう



☆トピックス：日本脳炎注意報が発表されました！

本県では日本脳炎の流行予測を目的として、毎年6月から9月の間に日本脳炎ウイルスの主な増幅動物であるブタのウイルスへの感染状況を各回10頭ずつ8回（計80頭）調査しています。7月24日（4回目）に調査した10頭のうち、2頭のブタから日本脳炎ウイルスに対して最近感染したことを示す抗体が検出され、そのうち1頭のブタから日本脳炎ウイルス遺伝子が検出された結果を受けて、7月31日に県感染症対策室より注意喚起の情報が出されました。本県では、令和3年に1名、平成28年に4名、平成25年に1名、平成23年に2名、平成22年に1名の患者が発生しています。

日本脳炎は日本脳炎ウイルスによって起こるウイルス感染症です。人はこのウイルスをもっている蚊（主にコガタアカイエカ）に刺されることによって感染します。患者発生は西日本に多く、蚊の発生時期である夏から秋にかけて報告されています。なお、人から人や感染した人を刺した蚊に刺されても感染することはありません。

潜伏期間は5日から15日で、ほとんどの場合は無症状で終わりますが、発症すると数日間の高熱・頭痛・嘔吐・めまいがみられ、重症化すると意識障害・けいれん・昏睡などの症状とともに、死亡に至ることもあります。有効な治療法はなく、一般療法および対症療法が中心で、肺炎などの合併症の予防を行います。治癒した場合でも、麻痺等の重篤な後遺症が残ることもあります。発症時の死亡率は20%から40%と高く、特にワクチン未接種の方・幼児・高齢者は注意が必要です。

予防には日本脳炎ワクチンの接種が最も有効です。また虫除けスプレー等の利用や長袖などを着用する等、媒介する蚊（主にコガタアカイエカ）に刺されないような対策を取りましょう。

（参考）長崎県感染症対策室 日本脳炎注意報の発表

<https://www.pref.nagasaki.jp/press-contents/622857/index.html>

ワクチン接種の詳細については厚生労働省のホームページを参考にしてください。

（参考）厚生労働省 日本脳炎（外部のページに移動します。）

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou20/japanese\\_encephalitis.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou20/japanese_encephalitis.html)

☆トピックス：梅毒の報告数が過去最多となっています

長崎県では2023年第30週までに**70件**の梅毒の報告があり、**過去10年の中で最多であった2022年の58件を上回っています**。男性が多く、年代別にみると20代が全体の約半数を占めています。また、妊娠中の4名の報告もあがっています。

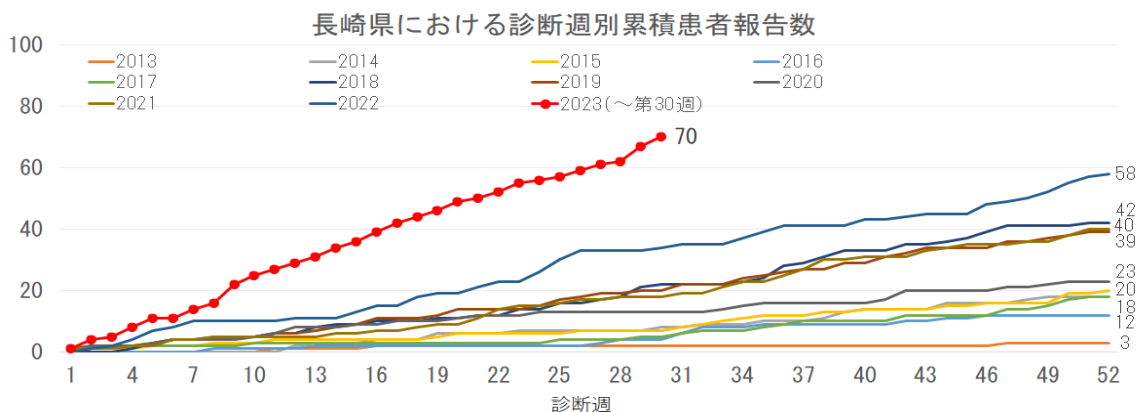
梅毒は梅毒トレポネーマの感染によって生じる性感染症で、感染者との粘膜の接触を伴う性行為感染や妊婦の胎盤を通じて胎児に感染する（＝先天梅毒）経路があります。

感染後3～6週間の潜伏期を経て、初期には感染部位の病変（初期硬結、リンパ節腫脹等）、続いて血行性に全身へ移行して皮膚病変（バラ疹や梅毒疹等）や発熱、倦怠感等の多彩な症状を呈するようになります。無治療の場合、感染から数年～数十年経過すると心血管梅毒、神経梅毒に進展します。

梅毒は早期診断、早期治療が重要ですので、感染が疑われる症状がみられた場合、感染の不安がある場合には、早期に医療機関を受診しましょう。また、県内の保健所では、無料の相談・検査を受けます（事前の連絡・予約が必要）。感染を予防するには、コンドームを適切に使用することや感染のリスクとなる不特定多数の人との性的接触を避けることが重要です。

（参考）国立感染症研究所 梅毒（外部のページに移動します。）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/syphilis.html>



☆新型コロナウイルス感染症の発生状況（2023年第30週：7月24日から7月30日）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2023年5月8日より、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」における類型が定点把握対象の5類感染症に変更されました。

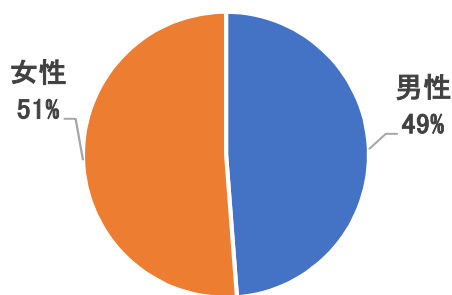
5月8日以降は、県内の人口等を勘案して選定された70医療機関（インフルエンザ/COVID-19定点）から、1週間（月～日曜）にCOVID-19と診断された患者数が週に1回報告されます。報告のあった県全体の患者数を集計し、本週報で毎週（原則木曜日）公表しています。

2023年第30週の新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、前週の「22.94」より増加し、「30.29」でした。多くの地区で前週より増加しています。また、年齢別では、10歳未満が多くなっています。

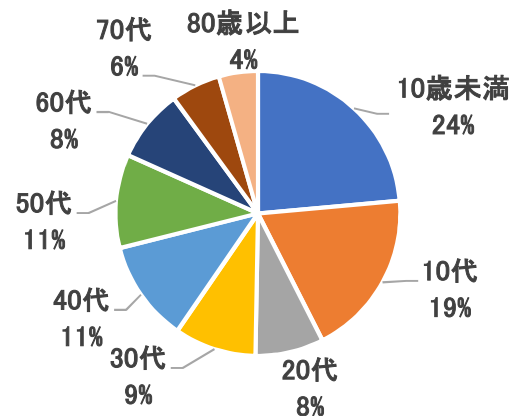
7月以降、感染者数が急拡大していますので、手洗いや換気、場面に応じたマスクの着用など基本的な感染対策にご協力をお願いします。また、発熱など体調不良時は、無理せず、外出を控えましょう。やむを得ず、外出する場合は、マスクを着用しましょう。

	長崎県	長崎市	佐世保市	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	壱岐	対馬
報告数	2120	602	214	137	348	203	163	31	257	82	83
定点数	70	17	11	6	11	8	4	4	3	3	3
定点当たり報告数	30.29	35.41	19.45	22.83	31.64	25.38	40.75	7.75	85.67	27.33	27.67

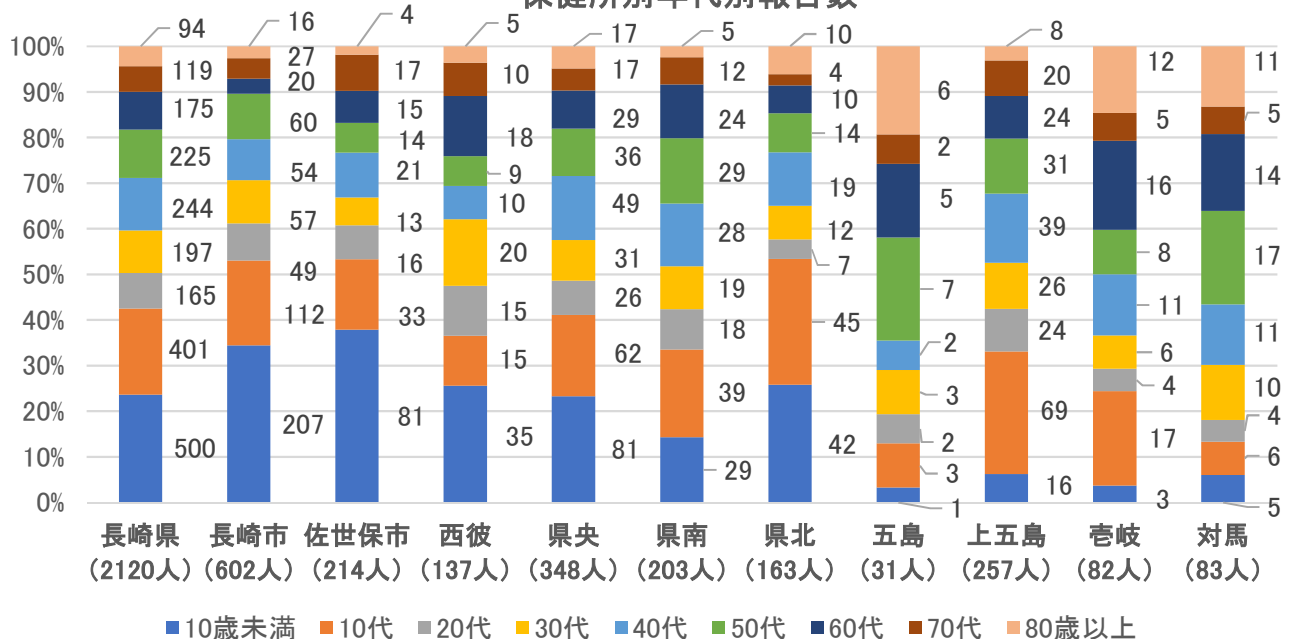
性別割合



年代別割合



保健所別年代別報告数



◆全数届出の感染症

- 2類感染症： 報告なし
- 3類感染症： 腸管出血性大腸菌感染症 無症状病原体保有者 女性（20代・1名）
- 4類感染症： 報告なし
- 5類感染症（全数把握対象）： 侵襲性インフルエンザ菌感染症 患者 男性（70代・1名）  
梅毒 患者 男性（30代・1名、40代・2名）

◆定点把握の対象となる5類感染症

（1） 疾病別・週別発生状況 （第25～30週、6/19～7/30）

疾患名	定点当たり患者数					
	25週	26週	27週	28週	29週	30週
	6/19～	6/26～	7/3～	7/10～	7/17～	7/24～
インフルエンザ	2.94	5.26	9.13	5.64	4.23	4.80
新型コロナウイルス感染症	5.29	6.93	11.50	16.66	22.94	30.29
RSウイルス感染症	1.75	1.84	1.75	2.09	1.93	2.05
咽頭結膜熱	0.25	0.25	0.18	0.18	0.14	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.05	1.80	2.14	2.14	1.48	1.64
感染性胃腸炎	2.59	2.30	2.50	2.34	1.75	2.25
水痘	0.07		0.16	0.18	0.09	0.05
手足口病	0.64	0.73	0.93	1.50	1.32	1.70
伝染性紅斑（リンゴ病）						
突発性発しん	0.20	0.34	0.20	0.43	0.27	0.25
ヘルパンギーナ	2.73	2.52	2.89	3.30	2.34	1.89
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.02	0.11	0.02	0.05	0.02	0.05
急性出血性結膜炎		0.13	0.13		0.13	
流行性角結膜炎	0.38	0.25	0.25	0.50	0.25	0.13
細菌性髄膜炎			0.08			
無菌性髄膜炎		0.08		0.08	0.25	0.17
マイコプラズマ肺炎		0.08				
クラミジア肺炎（オウム病は除く）						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）						

（2） 疾病別・保健所管内別発生状況 （第30週、7/24～7/30）※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾患名	定点当たり患者数（県・保健所管轄別）										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	4.80	1.18	9.82	0.33	4.33	6.18	4.13	3.75		2.67	1.67
新型コロナウイルス感染症	30.29	19.45	35.41	27.33	22.83	31.64	25.38	40.75	7.75	85.67	27.67
RSウイルス感染症	2.05	1.33	2.90		2.75	1.57	2.40	5.67	0.33		0.50
咽頭結膜熱	0.25		0.10		1.00	0.29	0.40				1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.64		0.50		1.50	0.43	10.60	0.33	0.33	0.50	1.00
感染性胃腸炎	2.25	5.17	1.70		1.75	4.57	0.60	3.00			
水痘	0.05	0.17			0.25						
手足口病	1.70	1.33	0.90		1.50	5.00	1.60	2.67			0.50
伝染性紅斑（リンゴ病）											
突発性発しん	0.25	0.33	0.30		0.75	0.43					
ヘルパンギーナ	1.89	0.33	2.70		2.00	3.86	2.20	1.67	0.67	0.50	
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.05					0.14	0.20				
急性出血性結膜炎											
流行性角結膜炎	0.13				1.00						
細菌性髄膜炎											
無菌性髄膜炎	0.17	1.00	0.33								
マイコプラズマ肺炎											
クラミジア肺炎（オウム病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）											